


第3回日産財団リカジョ賞 -グランプリ候補-

テーマ	リケジョサイエンス合宿		
所属機関	国立大学法人筑波大学 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター	役職氏名	ディレクター 樋熊亜衣
活動紹介	<p>女性研究者・技術者の割合は増加傾向にあるものの、依然として理工系分野を選択する女子学生の割合は低い水準である。その背景にある「理系女子」に対する先入観等を払拭し、理系進路への意識醸成を図るため、筑波大学では平成25年から、女子中高生が多様な理系分野の魅力を知り、体験できるプログラムとして「リケジョサイエンス合宿」を開催してきた。</p> <p>この合宿は女子中高生を対象とした2泊3日の合宿形式のプログラムで、実験体験や研究機関の見学を通して、「理科」の知識がどのように社会で役に立つのかを学ぶことができる。本プログラムの効果は主に以下の三つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 最先端の科学実験を体験することで多彩な理系分野の魅力を伝えることができる。 ② 研究機関や企業、大学で働く女性研究者の姿や、女子大学生・院生の姿をロールモデルとして提示することで、理系進学後の姿を具体的にイメージできるようになる。 ③ 大学生や院生、さらには同じく理系を志す同年代の女子中高生との交流を通じて、理系進学に対する不安を取り払うとともに、新たな気づきや発見を促す。 <p>本プログラムを通して、理系分野・科学技術に対する関心を高めることにつながった。</p>		
PRメッセージ	<p>研究学園都市であるからこそできる大規模なプログラムです。今後も「理科」の面白さ、奥深さを伝えられるプログラムを継続していきます。</p>		



合宿に参加する前、理系か文系かを選択する上での悩みや不安、心配していることはありましたか

19人 (21%)	42人 (46%)	15人 (16%)	16人 (17%)
■ とてもあった	■ 少しあった	■ あまりなかった	■ まったくなかった

↓

合宿に参加して、その悩みや不安、心配していることは減りましたか

25人 (27%)	42人 (46%)	23人 (25%)	10人 (11%)
■ 大きく減った	■ 少し減った	■ 変わらない	■ 少し増えた
■ 大きく増えた			

今回の合宿に参加して、理系分野や科学技術について、関心は高まりましたか

2人, 2%	0人, 0%	19人, 21%	71人, 77%
■ とても関心が高まった	■ すこし関心が高まった	■ 変わらない	■ 少し関心が減った
■ 関心を失った			